

NTTCom ホット・スポットサービスについて

NTTコミュニケーションズ株式会社
岩井 秀司
s.iwai@ntt.com

近年のインターネットのブロードバンド化に対するニーズの高まり、そして、無線LANに代表されるワイヤレスソリューションの普及に伴い、展開しているNTTコミュニケーションズのホット・スポット実験内容をご説明するとともに、今後の商用サービスへの展開戦略についての紹介を行う。

■無線 LAN 市場の拡大

- | | |
|--|---|
| ■IEEE802.11b(以下、無線LAN)カード販売数の拡大
・68万枚(H12年度) → 約 120万枚(H13年度) | ■PDAの無線LAN 対応
ex: Compaq iPAQ、東芝 Genio |
| ■無線LAN 内蔵PCの普及
・iBook (アップル)、 Thinkpad s30 (IBM)
・VAIO シリーズ (Sony)、 Lavie シリーズ (NEC) 等 | ■無線LANカードのCF対応
ex: メルコ、アドテック |
| ■無線LANカードの低価格化(単価1万円以下) | ■IEEE802.11a 対応カードの出荷
ex: Sony、TDK、Intel 等 |

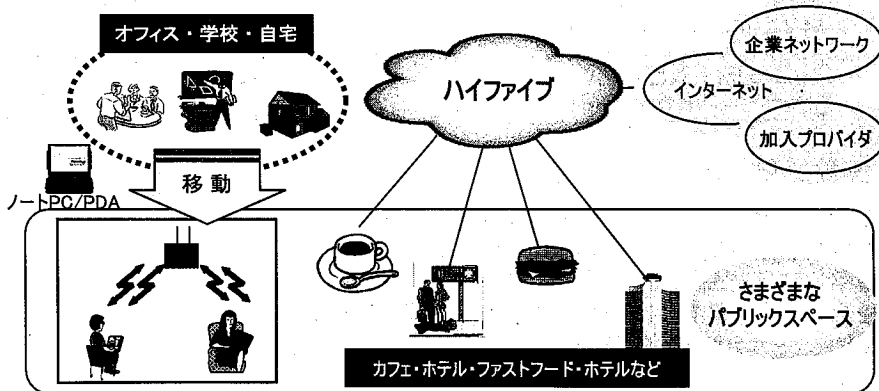
■ホットスポットのマーケット予測

英BWCS社は2001年7月、ホット・スポットによる無線LANが進展することで携帯電話事業者が今後大きなダメージを受けると発表した。ホット・スポットは空港のラウンジやホテルのロビー、会議場、喫茶店などでインターネットに接続できる無線アクセス・ポイント。その数は2001年末に世界で6300程度だが、2006年にかけて11万4220に急増する。利用者は2006年に1700万人に上る見通しだ。また関連するISPの年間売上高は、2006年に73億米ドルに達する。無線環境で使えるノート型パソコンおよびPDAは年間約2000万台出荷されているが、2006年には出荷台数の95%が無線LAN に対応する。

出典：日経マーケットアクセス

◆NTTCom の事業コンセプト

家庭、オフィスに普及している IEEE802.11b準拠の無線LAN 対応のPC/PDA をそのまま持ち出し、ホテル・ファストフード・カフェ等のパブリックスペースにおいてブロードバンドインターネット環境を提供する。



無線LAN 実験概要(ハイファイブ)のご紹介

◆実験概要

■実験目的

- ・パブリックスペースでの無線LAN通信の評価
- ・様々な立地条件でのホットスポット利用傾向
- ・定量的/定性的モニター利用分析

■実験期間

平成13年7月3日 ~ 平成14年3月(予定)
 ※平成13年12月末から期間延長中

■提供内容

- ・インターネット接続
- ・コンテンツ配信 (H13年12月末で終了)
- ・IPv6接続実験 (H13年12月25日より開始)

■実験モニター

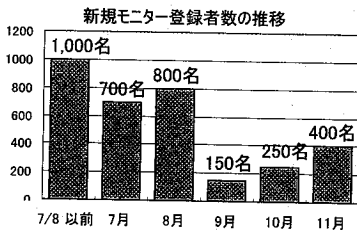
ID/Password を付与.

【Step1】

- 当初、景品付きで1,000名を募集(抽選)
- モスバーガー500円お食事券 1,000名様
- メルコ無線LANカード 200名様

【Step2】

景品なしでモニター登録を無制限受付
 12月現在 約3,300名のモニター様が利用中



- ・ニュースサイト、雑誌への掲載
- ・各ベンダによる無線LAN内蔵PC対応

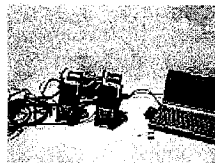
■実験スポット(4業種21拠点)



Shinagawa PRINCE HOTEL

- 7月 【モスバーガー 5店舗】
神田北口、渋谷道玄坂、門前仲町、銀座六丁目、茅場町
- 8月 【品川プリンスホテル別館2フロビー】
- 11月 【モスバーガー 2店舗】
目黒3丁目、五反田東
【ミニストップ 4店舗】
神田錦、高井戸、高円寺、荒川
【ブレンズコーヒー 2店舗】
青山花茂、新宿3丁目
- 12月 【モスバーガー 6店舗】
神楽坂下、市ヶ谷田町、慶応三田、芝大門、新宿西口、麴町
- 1月 【ミニストップ 1店舗】
六本木四丁目店

■イベントPR(Net.Liferium 12/15~16)



モス神田~パシフィック横浜
 での IPv6 接続デモ
 (iPAQでの音声アプリ+
 VAIOでの映像伝送)

技術協力:
 NTT情報流通プラットフォーム研究所

関連記事:

<http://www.watch.impress.co.jp/internet/www/article/2001/1217/hotspot.htm>

<http://www.rbbtoday.com/news/20011218/5830.html>

◆実験結果

- 20~40代/会社員/男性の利用が相対的に多い.
- 最頻利用時間帯は、午後2時から夕方ピーク.
- 平均利用時間は、30分~1時間未満.
- 全スポット合計で、平均20~40人/日程度のアクセス.
- Macユーザの反応が相対的に高い

商用サービス時の提供形態について

■提供時期は、平成13年4月頃を予定。

- エリアカバーは、需要の高い都市部から展開を予定
- Step1 都内23区内の人口密集地から順次展開（数百拠点規模）
 - Step2 上記以外の都内市部、近隣大都市部
 - Step3 地方政令指定都市等を検討

- 提供料金
- 個人向け： 月額定額制（1,000～2,000円で検討中） / Pay Per Day
 - 企業向け： 月額定額制

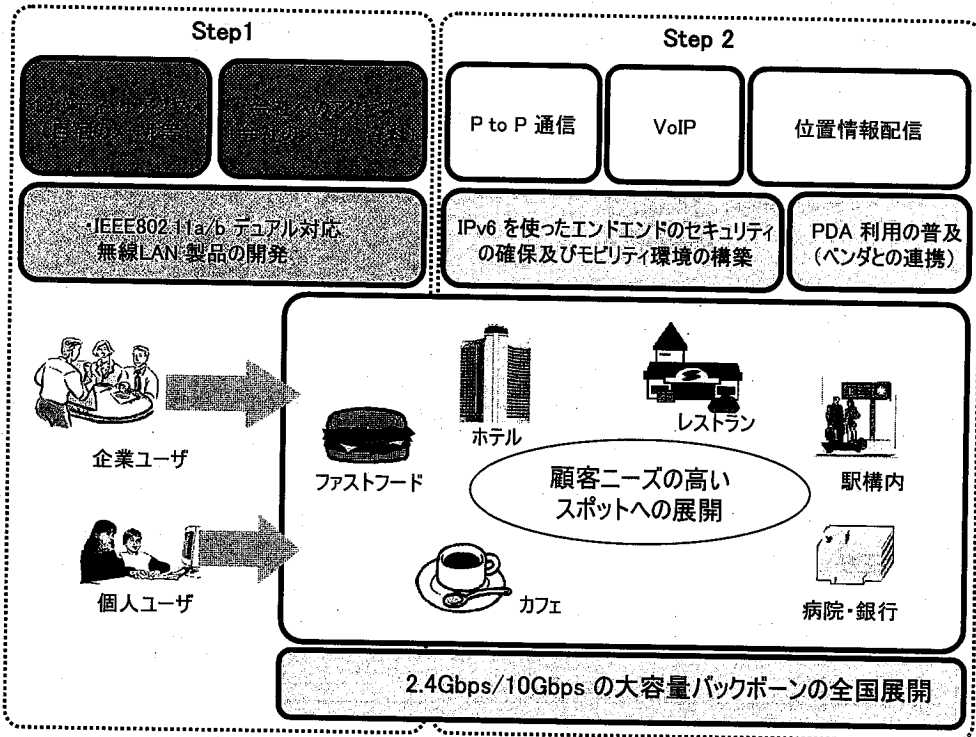
■ビジネススキーム



【サービス初期】
コスト負担は、NTTCom
↓実績
【サービス成熟期】
収支をお互いにシェア

■事業展開(下図を参照)

- Step1 ・個人向けインターネット接続サービス / 企業向けVPNイントラネット接続サービス
- Step2 ・位置情報配信に向けたコンテンツ事業者とのパートナーング
・IPv6 接続の提供



Infrastructure

- 無線アクセスポイント
 - ・IEEE802.11a/b 準拠

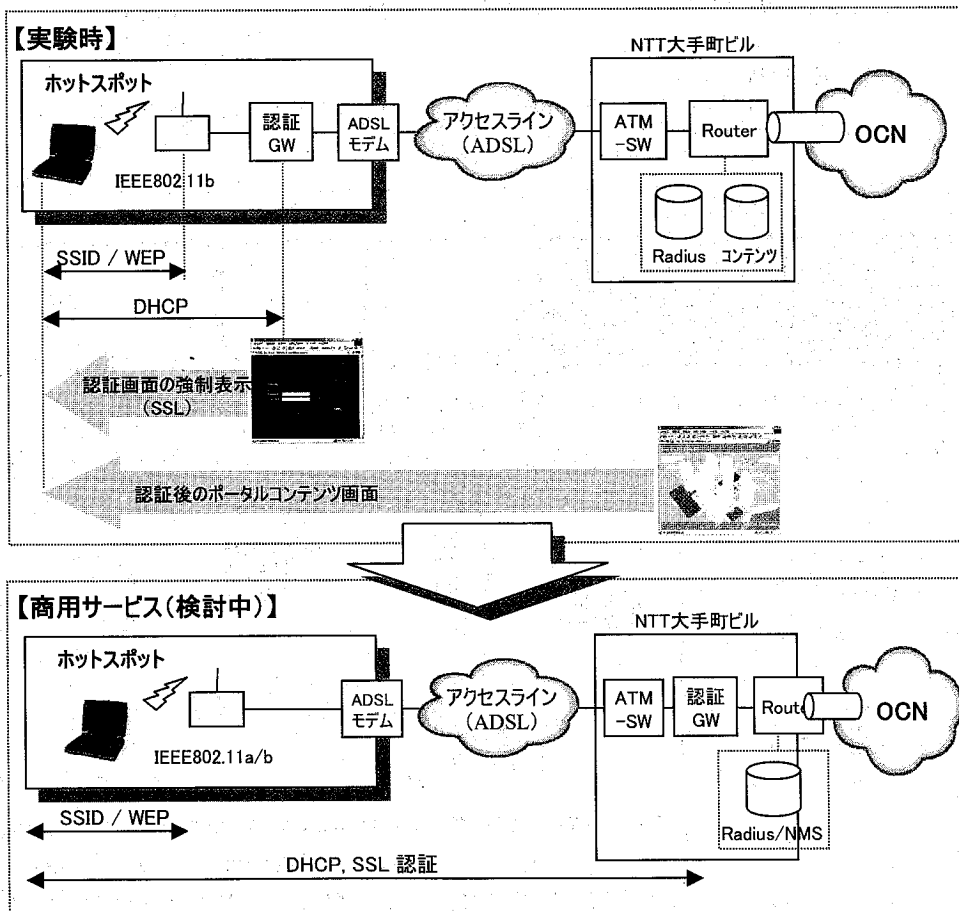
- ユーザ認証
 - ・Radius Authentication

標準化技術に基づいたオープンな
ネットワークインフラの提供

- アクセス回線
 - ・ADSL Annex.C/G.dmt
 - ・一部暫定的に G.Lite を使用.

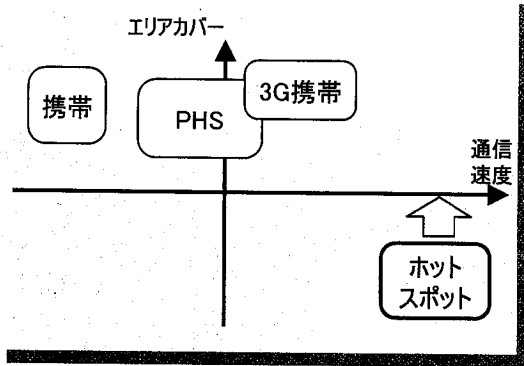
- 暗号化
 - ・SSL
 - ・WEP (40bit)

◆ハイファイブの設備構成



サービス普及に向けた今後の課題

◆ポジショニングの明確化



携帯/PHSの補完的役割

- ・ホットスポット以外では、PHS/携帯
- ・ホットスポットでは、無線LAN

◆サービス市場拡大に向けたセグメント別プロモーション

